



城陽おひさまプロジェクト news

第 59 号 2024 年 5 月 5 日 NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会

0774-55-4190 <http://jyoyonokai.sakura.ne.jp>

総会と記念講演

5 月 26 日、1 時～ ぱれっと JOYO にて

”断熱”を窓博士・高橋秀直さんと一緒に考えましょう

今年の総会を 5 月 26 日（日）に行います。本格的なコロナ明けとなりますので、再エネ・省エネの記念講演会も開催します。今回のテーマは「断熱」、冬の寒さ、夏の暑さ、本当にこたえます。暖房やエアコンで過ごすことは大切ですが、ちょっと断熱について考えて下さい、せっかく冷やした空気が窓からいっぱい出ていっていませんか、太陽の熱が壁や窓から入ってきてはいないでしょうか。これをシャットアウトすればもっと快適・リーズナブルに暮らしができるのでは、それは健康にもつながっていくのではないか……。窓のプロと一緒に考えませんか。

住まいの断熱で快適な暮らしと健康を手に入れる、そんな暮らしを断熱の正しい知識を身につけ“めざせ医者いらず！おうちにぴったりの断熱方法”と一緒に学びましょう。

講師はエコット宇治でもおなじみの高橋秀直さんです。高橋さんはご自身の体験から断熱、特に窓の断熱が重要と材質や施工方法の改良に取り組んでおられます。会場では断熱窓の体験も準備しています。補助金のお話もありますよ。

再生可能エネルギーに関心をお持ちのみなさんも省エネに関心をお持ちの皆さんも、是非お聞きください。会場の都合で先着 40 名迄とさせていただきます。

京都府地球温暖化防止活動推進センター 後援

入場無料・事前予約不要・先着 40 名迄 質問自由

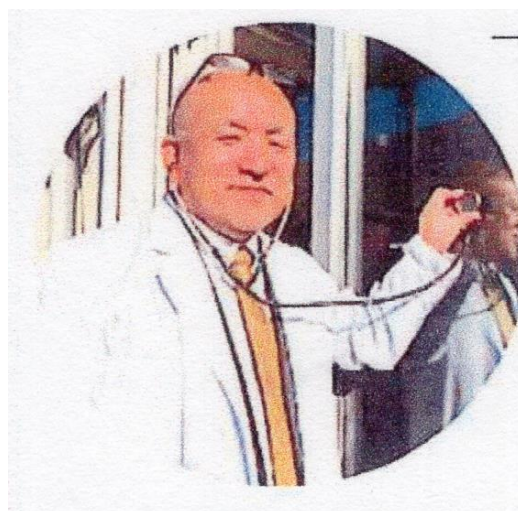
講師 高橋 秀直氏 (一般社団法人 窓断熱窓騒音環境対策協会 代表理事)

タイトル 一緒に考えましょう 住まいの断熱と健康！

日時 5 月 26 日（日） 午後 1 時から 2 時 30 分

場所 ぱれっと JOYO 会議室

高橋さんは YouTube 「エコ窓チャンネル」で窓博士として動画出演中。
「断熱 高橋」で検索してみてください。



城陽市のカーボンニュートラル施策 <補助金の概要>

城陽市では断熱工事や太陽光システム（パネルと蓄電池）・雨水タンクの設置に際して補助金を交付する取り組みを行っています。その概要をお知らせします。

☆ 断熱工事

住宅窓の断熱改修で補助対象となる設備等の要件はガラス・窓及びそれと不可分な部材の製品です。

- ガラス若しくは窓の交換、又は既存の窓の内外に新たに窓を設置したもの
- 交換、又は設置を行う製品の熱貫流率が4.65W/m²・K以下のもの
- 市内に事務所又は事業所を置く事業者が発注した事業であること

★注意★

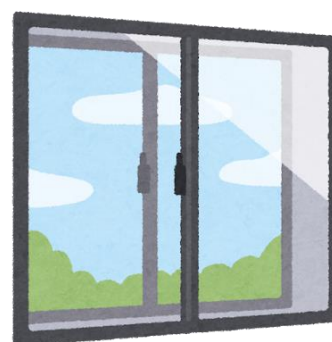
- ・全面リフォームにより、窓の位置やサイズが変わった場合も補助対象になります。
- ・令和6年4月1日以降に発注した工事であることが必要です。
- ・新規に設置した窓は補助対象になりません。

【補助対象経費】

ガラス又は窓の購入に要する費用、ガラス若しくは窓の交換又は窓の設置に要する費用（税込）

【補助額】

補助対象経費の10分の1（千円未満端数切り捨て）で上限額は5万円です。



☆ 住宅用太陽光発電システムと住宅用蓄電池システムの同時設置

住宅用太陽光発電システム（公称最大出力の合計値が2kW以上）と住宅用蓄電池システムの同時設置の場合、補助機の対象となります。電力会社と系統連系するシステムであるものに限りません。住宅用太陽光発電システムに限ります。

借家等の場合、対象とならない場合がありますので注意してください。

補助額は設置費用等の総額の2分の1以内で上限額14万円です。

☆ 雨水タンクの設置

補助の対象となる設備等は貯留容量が80リットル以上で密閉型であることなどの条件があります。今年4月1日以降に購入した雨水タンクであることが必要です。

設置、運搬、手数料等の費用及び架台等の附属品の購入費用は補助対象になりませんので注意してください。

補助額は補助対象経費の4分の3（千円未満端数切り捨て）で上限額は2万1千円です。

断熱工事や太陽光システム（パネルと蓄電池）・雨水タンクの設置については

- 城陽市内に住所を有する者
- 市税を滞納していない者（交付申請時に市税調査に同意をいただきます。）
- 一戸建て住宅への設置であること（雨水タンクを除く借家の場合も申請可能です。）
- 過去に当該補助を受けていないこと（城陽市雨水貯留施設設置補助金を含む）などの条件があります。

実際に工事や設置をされる場合や詳しい内容は工事業者・市の担当課にお尋ね下さい。

お住まいの市町村でも同じような補助事業が行われていると思います、環境対策セクションの窓口にお尋ねください。また、国（環境省・国交省）の補助も同時に受けられる場合もあります。

能登半島地震 止まっていた原発と建設を止めた原発

最大震度7を観測した能登半島地震、発生から5カ月を迎えました。一日も早い復旧・復興を願わずにはおれません。

志賀原発

地震が発生した能登半島には北陸電力志賀原発（石川県志賀町、停止中）があり、外部電源や非常用電源が一部使えなくなりました。そして放射線監視装置（モニタリングポスト）の一部も測定不能になるなどのトラブルが次々に明らかになってきています。北陸電側は「安全上の問題はない」と繰り返していますが、原子力安全が専門の元京大原子炉実験所助教・小出裕章氏は「10年以上運転停止していたことが幸いした」と安全性に疑問を投げかけています。

原発の使用済み燃料は発熱していますが、10年たつと発熱量は運転停止直後に比べ、千分の1以下に低下します。志賀原発は長期間にわたり停止していたことが何より幸いだった、と言われる訳です。

今回の地震で志賀原発は外部電源の一部系統が使えなくなり、非常用発電機も一部停止しました。稼働していたら、福島第一原発と同様の経過をたどったかもしれないのです。



志賀原発 (Wikipedia より)

珠洲原発

能登半島にはもう一つ原発が計画されていました。

能登半島地震の震源地近く、珠洲市高屋地区に関西電力が1970年代に建設を計画していた「珠洲（すず）原発」です。住民の粘り強い根強い反対運動で2003年に計画を白紙撤回させました。

高屋地区は今回の地震で多くの住宅が倒れ孤立状態になったところです。この様な重大な事故が起これば住民の避難は非常に困難になったのではないのでしょうか。珠洲の人たちの勇敢で先見性のある闘争は多くの人々を救ったといっても過言ではないでしょう。

地震列島日本に原発はいらない！の言葉が重く響いているように思えます。

太陽光「売る」より「使って」

電気代の高騰で、太陽光発電の自家消費を促す製品に注目が集まっているとの報道が相次いでいます。余剰電力を売電するより、できるだけ使ったほうがメリットが大きいから、給湯や蓄電の分野で、自家消費優先タイプの製品が増えています。卒Fitのパネルが増えてきた2019年以降は余剰電力価格の低下傾向とも相まって、「売る」より「使う」傾向が増えているとの事。

特にウクライナやパレスチナでの戦闘が続き電気代高騰が拍車をかけています。

太陽光発電を設置した家庭では、「給湯」と「蓄電」にシフトしているといわれています。



本会のQRコードです。簡単にホームページを閲覧することができます。
NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会
連絡先 0774-55-4190 e-mail bnkmf858@kcn.jp

スイスの気候変動対策は不十分、欧州人権裁が判断 熱波の危険性

欧州人権裁判所（ストラスブール・フランス）は9日、気候変動に対する政府の取り組みが不十分であり、熱波に際して死亡する危険性があると主張していたスイスの高齢女性の訴えを支持する判決を下しました。2000人以上の女性による今回の訴訟での判断は、増えつつある人権侵害を基にした気候変動訴訟に裁判所がどのように対処するか先例となります。欧州人権裁のシオフラ・オレアリー長官は、スイス政府が気候変動に十分な対策を講じなかったことにより、個人の生活面で人権が侵害されたと指摘しています。控訴はできませんので、今回の判決が政府に対し、排出削減に向けた一段の行動を迫る可能性がある、とされています。

欧州人権裁判所が地球温暖化について判決を下したのは今回が初めてです。

LED電球無料交換会4回実施、5回目を提案、本年度総会議案で

コロナ禍の2021年に、このような中でも何か環境にやさしい、お財布にも優しい取り組みができないだろうかとの知恵を集めて実施してきたLED電球と白熱電球との無料交換会、昨年12月で4回を迎えました。これまでに505個を超える白熱電球・蛍光灯を回収、387個のLED電球と交換してきました。最初は恐る恐る始めた交換会ですが、毎回好評で参加された方からは「ありがとう」の感謝の言葉を頂いています。これまでの取り組みを下の一覧表にまとめています。

今年の総会議案では5回目の交換会実施を提案していますので、会員の皆さんの大きな論議を期待しています。

| 回 | 年月日 | 場所 | LED /個 | 白熱球等 /個 | CO ₂ カッ ト量/t | 節電量 /kWh | パネル 相当数 |
|---|-------------|--------|-----------|------------|----------------------------|-------------|------------|
| 1 | 2021. 2. 14 | 文化パーク | 100 | 151 | 5. 6 | 12000 | 3 |
| 2 | 2022. 2. 27 | 青谷コミセン | 84 | 117 | 4. 7 | 10000 | 2 |
| 3 | 2023. 2. 26 | 東部コミセン | 109 | 137 | 6. 2 | 13300 | 3 |
| 4 | 2023. 12. 9 | 北部コミセン | 94 | 100 | 5. 5 | 12751 | 3 |
| 計 | 4回 | | 387 | 505 | 22. 0 | 48051 | 11 |

1回目は先着順、時間区切り2グループ制で実施。

2回目は事前予約制を導入、5グループ。15分のミニ講演会後にLED電球と交換

3回目は事前予約・4グループ、ミニ講演会も実施。チラシに受取人払いのハガキ刷込み

4回目は事前予約・3グループ、ミニ講演会に手回し発電の体験を導入。チラシにQRコード刷込み

いずれの回も広報紙に掲載、記者発表を行い多くの方への宣伝に努めた。また、市内企業の協力も頂き実施しています。パネルの容量は4kWで換算しています。

－ e-mail アドレスをお持ちの方へ －

現在、おひさまニュースは会員の方すべてに紙ベースでお渡ししています。同時にホームページにアップして会員外の方も見る事が出来るようにしています。紙のニュースでは印刷の関係で写真は白黒になりますが、ホームページ上のニュースはカラーで掲載しています。

会員の方も自由にホームページは見る事が出来ますが、ニュース発行時にe-mailアドレスにニュースを添付してお送りすることにより、発行と同時に見る事が出来るようになり、速報性が増し、カラーの紙面を見て頂けるようになります。

ご希望の方は副理事長・杉浦のアドレス (ksugi04@yahoo.co.jp) にご連絡下さい。ご連絡頂いた後の「おひさまニュース」はe-mailに添付ファイルとしてお届けします。